



MAIZURU WORK NOTE

ふと、たちどまって考えた
将来のこと、仕事のこと

まいづるお仕事ノート

PRODUCE BY U-turn operation in maizuru

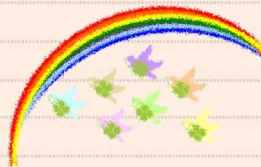


はじめに

私たち「政策づくり塾」の塾生は、市民と市役所職員が一緒になって、“舞鶴をよりよいまちにするにはどのようなことが必要なのか”そして、“自分達はどんなことができるのか”ということを学び、実践しています。

このなかで、私たちのグループは「進学等で一度舞鶴を離れた若者がなかなかUターンできていない」という点に着目し、これから進学しようとする高校生に地元に戻って働くことへのイメージをもってもらうためにこの冊子を作成しました。

実際に舞鶴へUターンし、農業や観光、福祉、サービス業などで働いている人達がどのような想いでUターンされたかを紹介しています。先輩方の話を通して皆様が舞鶴のこと、将来のことを考えるきっかけになれば幸いです。



データで見る「高校生が考える将来のこと」

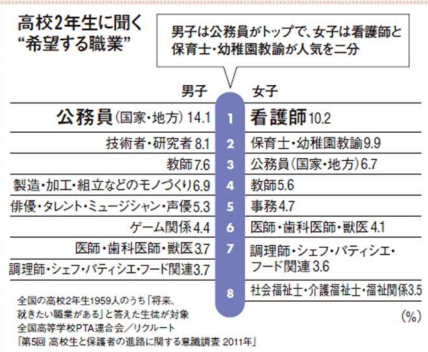
全国のデータを参考に、将来の仕事のこと・住む街のことを考えてみよう！



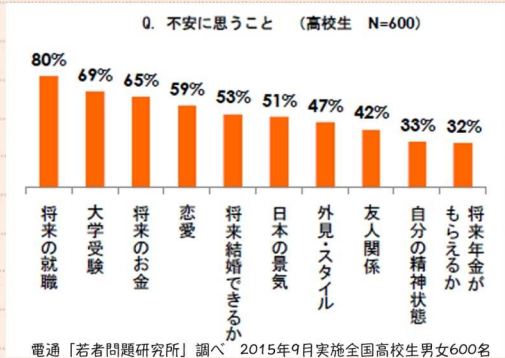
将来の夢がある高校生は52%。回答者のうち2000人が夢の内容を具体的に書いてくれた一部を紹介。

- ウエディングプランナーになって、人が幸せになるお手伝いをしたい。(1年女子)
 - 小中学校の教師になり、「出会えて良かった」と思われる人になりたい。(1年男子)
 - 外国に行ってみよう。世界中が幸せになれるよう貢献したい。(1年女子)
 - 家庭内の問題で逃げ場がない子どもたちを救ってあげたい。(2年女子)
 - いろんな国の言葉をしゃべり、国に関係なく人を救いたい。(2年男子)
 - 会社を立ち上げて、ブラック企業を買取りその企業のシステムを変えたい(3年女子)
 - 温かい家庭を持ち2人のかわいい娘とかわいい奥さんと幸せに暮らしたい(3年男子)
 - 大学卒業後、トレーナーになり10～20年学んだ後、ジムを運営する。(3年男子)
 - 自分の考えていることや世の中のことを本や映画などにして伝えたい。(3年女子)
- (高校生新聞 2013年10月号から)

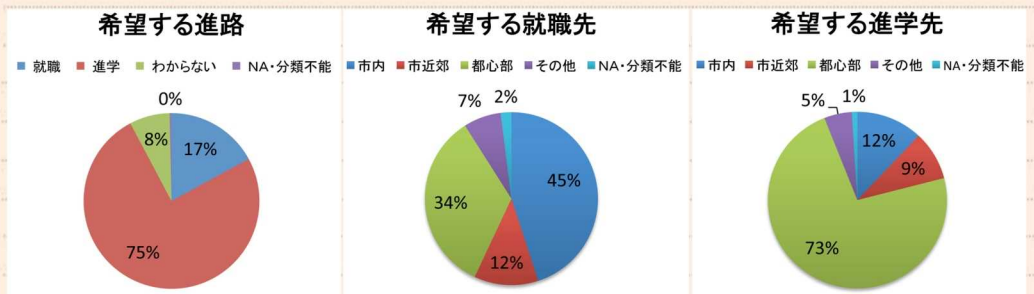
高校2年生に聞く、「希望する職業」



高校生が「将来不安に思うこと」



舞鶴市内高校生に聞く。将来の進学・就職について。



先輩仕事インタビュー！

舞鶴で働く先輩方の「声」聞いてきました

金融

神谷 百合さん

京都北都信用金庫

<若者に一言>

「舞鶴には何も無い」と思ってしまうけれど、一度舞鶴を離れ外から地元を見直すと、舞鶴の良さに絶対気づくはず。色々な視点で物事を捉える事ができれば立派な社会人になれるはず！

舞鶴のこと

「社会人として舞鶴で生活してみると、大阪や京都には1時間程度で行けるし、日常生活では特に不便を感じない。家族や友達がいる安心感もある、そして、自然が身近にあり旬の美味しいものや、魅力あるスポットもたくさん発見できました。」

「高校生の時気づけなかった事が、まだまだありそうな気がします。知っているようで全然知らなかった地元舞鶴での生活を楽しんでいます。」

仕事のこと

仕事から見える舞鶴の魅力

「現在は、地元金融機関である京都北都信金に勤めています。就職活動の時、舞鶴は会社も少なく、就職先なんかあるのかなと思っていましたが、今の仕事は地元の会社や社長さんと接する機会が多く、舞鶴ってこんなに企業（働く場所）があるんだと、改めて知る事ができました。又、全国的な知名度があったり、100年以上の歴史があったり、キラリと光る魅力的な会社は実はたくさんある町なんです。華やかな仕事も憧れると思いますが、お父さん、お母さんって、どんな仕事しているんだろ？って、少し興味をもってみて下さい。いろんな発見があると思います。」



人とのつながり

「生まれたときからたくさんの人にお世話になり育ったので、特に都会への憧れはなく舞鶴に安心感や愛着がありました。現在もお世話になった人たちに助けられ支えられて今の仕事ができています。『住めば都』のとおり、その土地土地の文化や風土はそれぞれに良さがあり、舞鶴を離れて気づくことや年齢によって感じるものも違います。『舞鶴が…』というより『地元の人とのつながり』は他に換えられない財産です。」と話をしてくれました。

地元ならではの愛着や人とのつながりこそが生活・仕事をするうえでの魅力の一つなのだと感じました。

阪口 靖敬さん

中学校教員

教員

<若者に一言>

舞鶴を抜け出すことばかりではなく、舞鶴の土地や海を有効な資源として「田舎な舞鶴」を捉えてみませんか。この先、地方都市の活用について勉強するもの面白いのでは？若い人のアイデアがどんどん取り入れられることを期待しています！

仕事のこと

プロとしての自覚

高校卒業後は、進学・就職のため舞鶴を出られた阪口さん。一旦は興味のあったモノ作りの仕事に就かれましたが、家庭の事情もあり舞鶴に帰郷されました。現在は体育教師として働き、生徒にあいさつの大切さを教えるなど将来のための人材育成をされています。「モノ作りのこだわり」は、今の仕事でも「追求心」として活かしている。子ども・舞鶴・地域のために求められる学校でありたい。」と思いを語る眼差しから熱意が伝わってきました。



公務員

岡山 真美さん

舞鶴市役所



仕事のこと

福祉に関わりたい！を実現

高校生の時の舞鶴のイメージは「何もない田舎のまち」。そんな岡山さんがなぜ舞鶴に帰ってきて働こうと思ったのか、「高校生の時から福祉に関する仕事をしたいと思っていました。大学で福祉について学び、就職を考えたとき、どの場所の福祉に貢献したいかと考えたら地元である舞鶴の福祉をよりよくするために働きたい、また、家族のもとに戻って生活したいと思い帰郷しました。」



<若者に一言>

都会の方が便利で選択肢も多いかもしれませんが、私たちの生まれ育った故郷は「舞鶴」です。そのことに誇りを持ってどこにいても忘れないでほしいです。



舞鶴のこと

働きながら魅力に気づいた

「言い出したらきりがなくくらい舞鶴は魅力的なまちだと思いますよ。というより、どんなまちでもいいところはたくさんあるということに気がきました。」「地域の父さん世代が仲良しで、祭り等の行事以外にも、一緒にしいたけ栽培やそば打ちをすることがある。地域の人々とのつながりがあるのはとても良いことだと思う」という話をしてくれました。「目的のために集まる」のではなく、「みんなで楽しむ目的を作れる」、そういう関係が築ける地域が残っているのも舞鶴の魅力の一つなんだと感じました。

仕事のこと

舞鶴のブランド野菜でもある万願寺甘とうの栽培。「農業というと畑を耕し、水をまき、収穫するといったイメージがありますが、私は科学的データをモニタリングできるようにしており、スマホで確認できるようにしています。データを取ることで客観的な判断ができる材料になっています。」工学部という農業とは違う世界を見てきたからこそできる岡安さんのオリジナルアイデア。太陽や動植物と共に五感をフルに刺激されながら生きることの素晴らしさを語ってくれた岡安さん。

農業を楽しみながら舞鶴での暮らしを充実したものにしているのが伝わってきました。



農業家

岡安 賢治さん

<若者に一言>

舞鶴では農業者、行政、農協が一丸となってチーム舞鶴で舞鶴発祥の万願寺甘とうの生産振興に取り組んでいます。農業はとにかく面白いです。是非遊びに来てください！



学生のとき

工学部から農業へ

大学時代は工学部に在籍し、高分子化学を専攻していた岡安さん。なぜ、全く分野の違う農業の世界に？「大学時代は研究に明け暮れる日々を送っていましたが、自分の将来を考えたとき、人工的な環境に長時間身を置き続ける人生よりも、自然豊かな環境に身を置き自分に適したペースで主体的に知性と感性と身体をバランスよく十分に使うことができる毎日を送りたいという強い思いを持つようになり、農業という職業に興味を持ちました。」

福祉施設

仕事のこと

心が通うあたたかな場所

今は24時間対応で認知症の方々の介護をしている寺本さん。「認知症の方々への対応は、自分の伝えたい事が伝わっているか戸惑う時が多あります。不安を抱えながらも『家庭のような雰囲気づくり』を大切にしながら、日々一生懸命取り組んでいます。そんな中、利用者の方々から『私はここにきて幸せです』などといったもらった時は、この仕事をやっていて良かったと実感します。」たとえ会話が成り立たなくても、手をつなぎ一緒に歩くだけでも、会話になっていることも介護の大切な要素だそうです。認知症対応という難しい仕事を笑顔で話してくれた寺本さんが印象的でした。



寺本 歩美さん

社会福祉法人 大樹会

<若者に一言>

今できる事をたくさん経験して、そこから好きなことをみつけて仕事につなげていってほしい。また、友達や家族を大切にしてください。いろいろなことを学んでほしい。



学生のとき

福祉って身近なこと

高校時代はインテリア関連の仕事に就きたかった寺本さん。京都市内の短大に通いながらインテリアの勉強をしていました。バリアフリーや誰もが使いやすいユニバーサルデザインのことなどを学びながら、ふとしたきっかけでホームヘルパーの資格も取りました。もともとおばあちゃん子だった寺本さん、その勉強がきっかけで福祉の仕事にも興味をもち、現在の職業に至りました。「舞鶴も大好きで、今でも学生時代の友達と仲良く、家族とも会えるこの生活が充実しています。」と話してくれました。

中川 貴之さん

舞鶴かまぼこ協同組合

観光

仕事のきっかけ

高校卒業後はテレビ番組の音響設備や編集作業を学ぶため大阪へ進学・就職し夢を叶えた中川さん。そんな中川さんがなぜ舞鶴に帰郷してかまぼこに関わる仕事に就かれたのか。「きっかけは舞鶴で暮らす両親が心配になったこと、また長男ということもありました。帰郷後も今とは別の仕事をしていましたが、親との何気ない会話から『かまぼこは舞鶴の名産』と恥ずかしながら初めて知り、同時に舞鶴で育った人たちでも名産と知らないのではないかと感じました。舞鶴の名産『かまぼこ』を自分の経験を活かして伝えていきたいと思い、舞鶴かまぼこ協同組合のドアをたたきました。」

<若者に一言>

目指す世界が舞鶴を出ないと無いかもしれませんが、知らなかった世界だからこそ目線や気付きも違うので、舞鶴には無いという目線からではなく、今ある仕事も含め一度舞鶴のことをゆっくり見てみてください！



仕事のこと

発信方法を工夫する

かまぼこの配達や広報、営業などの仕事をされている中川さん。広報活動では製造現場の映像を制作、また、かまぼこ手作り体験工房では手元を分かり易く見てもらうため、カメラで撮影を行いテレビに映す設備を整えるなど、趣向を凝らした方法で舞鶴の名産を広く知ってもらうことに貢献。今後は、「かまぼこの概念を覆したかまぼこを作りたい。」と意気込みを語られた中川さん。みなさんの食卓に新しいかまぼこが並ぶ日もそう遠くはないかもしれません。

漁師

仕事のこと

河畑 貴政さん

株式会社 鶴昇丸



頑張った分だけ、成果がある！

インテリアの仕事からリターンして漁師になった河畑さん。「前の仕事は指示されたことをこなすだけで達成感が得られなかった。漁師の仕事は努力すればその分だけ成果がでて達成感が得られることが魅力。」と話してくれました。網を用いた魚だけでなく、釣り堀の経営やカキの養殖といった多角的な経営努力をすることが天候の影響が強い漁業にとってリスクの分散にも繋がっているようです。

また「漁師という仕事ができる環境があることが舞鶴の魅力なのでは」と語ってくれました。

<若者に一言>

15年ぶりの地元は毎日とても新鮮です。皆さんも今後様々な経験をさ社社会でご活躍されることを願ってます。



地域のこと

丸山 剛さん

田井水産有限会社

つながりを感じながら

大学卒業後はコーヒーショップで接客業をしていた丸山さん。「お客様とふれあえる仕事が好きでやりがいを感じていたものの、これからどんな風に生きていきたいかを考えた時、地元の誇れる産業でもある漁業をつごとうと思い帰郷を決意しました。」現在は田井で定置網による漁でブリ等をとっています。仕事の魅力を聞いてみると「地域の人達がチームとして漁をしているので、地域のつながりのよさを感じる。あと、自分のとった魚をおいしいと言ってもらえた時は漁師冥利に尽きる」と笑顔で答えてくれました。



仕事のこと

地元に戻って、仕事をすることを決めていた水上さん。まず幼稚園に就職し、現在は今の保育園で働き、資格も幼稚園教諭と保育士両方取得しているそうです。

仕事のやりがいは？と何うと「なんといっても、子どもの笑顔は素敵です。また、自分の名前を呼んでもらって、子どもに慕われると充実感を得ます。」と笑顔で応えてくれました。また、舞鶴には「海・山・川」多くの自然があり、子どもが決められた遊び場だけではなく、様々なフィールドで遊べることも魅力の一つということでした。体をたくさん動かし、たくさん食べ、すくすくと育つ子どもたちを、元気に応援する水上さんの姿が印象的でした。



水上 あゆみさん

やまも保育園

保育士

<若者に一言>

準備はいつでも始められます。ものを作る、歌を歌う、演奏するなど、自分の得意なこと・好きなことを将来に活かしてください。



学生のとき

中学生時代から

中学生の頃に「保育の仕事に就く」と決めていた水上さん。もともと子どもと接することが好きだったこと、幼稚園時代の先生との楽しい思い出が残っていることも影響したそうです。高校時代にピアノの練習を始めるなど、学生時代からコツコツと仕事のための努力を続けている水上さんの姿勢に驚きました。

京都市内の短大で学ばれたあと、迷わず舞鶴での保育の仕事を選ぶことから、就きたい仕事への「意志」をもつことの大切さが伝わってきました。もちろんその努力は今も続いています。



メイクアップアーティスト
スキンケアアドバイザー
フェイシャルエステティシャン

仕事・舞鶴のこと

女性目線で舞鶴を見る

舞鶴出身で東高卒業後、専門学校、美容師、ネイリスト、アメリカ留学等で4年間舞鶴を離れその後帰郷した岡さん。ネイル・美容関係の経験を活かし、現在は東舞鶴の「BENIKANE」という化粧品店で接客・販売の仕事をしています。仕事や経験を通して若者にひと言「舞鶴で結婚・出産をしましたが、実家の協力や保育サービスを利用して、スムーズに職場復帰できました。住みやすい町だなと実感しました。仕事では女性のお客様が多いですが、舞鶴にも綺麗でカワイイ女の子はたくさんいます。男性はもっと積極的になって下さいネ」と舞鶴男子にアドバイスを頂きました。



岡 志奈さん

BENIKANE

<若者に一言>

今から皆さんが一番自由に羽ばたける時を向かえます。本当にしたい事、正しいと思う事ならば、必ず挑戦し経験するべきです。後悔しないように、そして人生を楽しんで下さい。



戻るきっかけ

家族の想い

大阪で就職されていた岡さんが、舞鶴への帰郷を決断した意外な理由とは「おじいちゃんです。大阪で働いている時に、おじいちゃんから手紙が届き、家族みんなが私の帰りを待っている。寂しい思いをしている。舞鶴に戻って来てほしいと、家族からの想いが伝わる手紙に心をうたれたからです」。素敵なエピソードを聞かせてもらいました。



学生るとき

高校2年生の頃、絵を描く事や物理が好きだったこともあり「工業デザイナー」という職業に興味を持ち始めました。大学も設計・工業デザインを学べる学部を選び、その後東京の大企業に就職しました。舞鶴に就職することは全く考えていなかった大滝さん。ある時、実家が経営する工務店の事業継承の話が来ました。予想をしていなかった話に1年間悩んだそうです。しかし、自分の人生の意義を考えたとき、自らが指揮をとり、自らが描いていく経営者としての仕事に魅力を見出し、舞鶴に帰ってくることを決意されました。



大滝 雄介さん

株式会社 大滝工務店

建築

<若者に一言>

人生は一度きりであり、時間の経つのは早いものです。挑戦せずに悔いを残すより、失敗したとしても、挑戦してみることを選んでいくと、人生はみずみずしく輝くと思います。これからの人生、精一杯楽しんでください！

仕事のこと

一級建築士を取得し、社長として、多くの年上の社員さんたちをまとめあげる大滝さん。家を作ることはもちろんのこと、街づくりをはじめ、舞鶴全体の活性化の一翼を担っています。古民家再生で人が行き交う「場」を作りだし、街の風景冊子を作成するなど、新たな舞鶴の魅力を作りだしながら、市民を巻き込んだ活動もされています。

生まれ育った舞鶴をよくしたい、という気持ちに溢れる大滝さんは、日々自らが実行し続けることで、今までの考え方や人の価値観が変わることを実感しているそうです。人の暮らしを守り、新たな暮らし方を提案するなど、様々な視点で工務店の役割を果たし、さらに舞鶴の素晴らしさに気づかせてくれる方だと感じました。

夢ノート

将来なりたい職業は見つかりましたか？ 現時点での夢と、その実現のための進路について「夢ノート」を活用して下さい。

夢を実現するために、今の時期から考えてみましょう。

今後何を決めていいのか？何をすればいいのか？

目標の職業を考えている今の時点で、将来の進路について記入してみよう。

将来の夢、めざす職業

その理由



目指す職業に必要な学び

その学びを実現する学校名や具体的な方法



先輩に聞きました！



アンケート結果！

平成27年11月11日～12月30日実施
舞鶴市内在住60名配布 有効回答数60名

質問1

高校卒業後の進路と舞鶴に帰るまでの道のりを教えてください。
(舞鶴を何年間離れていましたか)

| | | |
|----|-------|-----|
| 1位 | 1年～4年 | 41名 |
| 2位 | 5年～9年 | 14名 |
| 3位 | 10年以上 | 5名 |

各コメント

- ・大学卒業後に戻ってきた。
- ・専門学校卒業後2年間働き戻ってきた。
- ・10年間働いたのち、転職してきた。
- ・都会で3年働いて戻ってきた。
- ・大学院に行き戻ってきた。

質問2

なぜ、舞鶴に帰ってこようと思われましたか。



| | | |
|----|----------------|-----|
| 1位 | 地元が好きだから | 22名 |
| 2位 | 家族のため | 10名 |
| 3位 | 選んだ職種が地元にあったから | 6名 |

その他

- ・配属先が舞鶴だった。
- ・都会の生活に飽きた。
- ・子育てのため。
- ・結婚したため。
- ・都会で働き、舞鶴の良さを実感したため。
- ・家業を継ぐため。

質問3

今、自分がしている仕事の内容を具体的に教えてください。

ここではアンケートに協力してくださった方々の職業を紹介します。

金融 観光業 農業 漁業 教諭 (小学校・中学校) 市役所 (農林・税務等) 保育士 福祉施設職員 携帯アプリ開発 葬儀業
不動産業 印刷業 アパレル販売員 ネットショップ 自動車リース 家電販売 自動車部品生産・販売 (順不同)

同じ事業所内でも、営業・事務・製造などの業務に携わる方々にも協力していただきました。

質問4 高校生の時は舞鶴のことをどう思っていましたか。



| | | |
|----|-------|-----|
| 1位 | 不便、田舎 | 32名 |
| 2位 | 離れたい | 12名 |
| 3位 | 住みやすい | 7名 |

その他

- ・就職先がない。
- ・特に何も感じていない。
- ・暗い街。
- ・家族や友達がいるところ。
- ・遊ぶ場所がない。
- ・自然豊かで誇れるところ。

質問5 Uターンしてみても気づいた舞鶴の魅力はありますか。逆に不満なことはありますか。

| | | |
|----|------------|-----|
| 1位 | 食べ物が美味しい | 23名 |
| 2位 | 人とのつながりがある | 15名 |
| 3位 | 移動費がかかる | 12名 |

その他

- ・車で生活できる。
- ・程よい田舎。
- ・友達がいる。
- ・観光資源がある。
- ・夏暑く、冬寒い。
- ・空気がおいしい。



質問6 若者（高校生）へ向けて一言お願いします。

自分が育った舞鶴をもっと知ってほしい。

自分が挑戦したいことにどんどん挑戦してほしい。

地元を離れると、地元の良さがわかります。いろいろな場所に行ってほしい。

やりたいことは見つけづらいですが、やれることを精一杯やるのが大事です。

私の同級生は7割帰ってきています。一緒に舞鶴を盛り上げましょう。

都会でしか学べないこともあります。それを戻ってきて舞鶴で活かしてみてください。

都会への憧れを持ちがちですが、住めば都。舞鶴は自慢の街になりますよ。

知れば知るほど好きになる街です。ぜひ一緒に働きましょう。

自分が何のために、どんな仕事をするのか、よく考え、自分のやりたいことを見つけてください。



その他にも、たくさんの言葉をいただきました。アンケートにご協力いただきありがとうございました。



MAIZURU 100



2016 01 30

編集 舞鶴市政策づくり塾第4期生
曾根章嘉 後藤俊二 山田涼大 五嶋仁
監修 塾長 京都府立大学公共政策学部 准教授 窪田好男

